会　議　結　果　報　告　書

令和８年１０月１９日

会議の名称	令和８年度第２回　志木市地域自立支援協議会　全体会
開 催 日 時	令和８年１０月１５日（火）１０時００分～１１時４０分
開 催 場 所	志木市市役所　大会議室３－３、庁議室
出 席 委 員	平野方紹会長、田中一副会長、北澤恭子委員、小澤静枝委員、 松田健太委員（代理）平井光代氏、寺橋義雄委員、上田将史委員 大橋稔委員、徳永幸子委員、日下喬史委員、平澤純委員、 市沢志保委員、太田寛隆委員、村田敬吾委員　（計１４人）
欠 席 委 員	外村光康委員、田中孝幸委員、小石川良子委員、渡邉徹委員、 牛久保菜々子委員（計５人）
説明職員氏名	福祉部　部長　中村修、共生社会推進課　課長　高山佳明、 主幹　白子裕一、主任　駒ケ嶺美環　（計５人）
傍聴者の数	なし
議　　題	（１）報告事項 ①「第８期障がい福祉計画」「第４期障がい児福祉計画」の団体ヒアリング結果及び素案について ②日中支援型グループホームの評価結果（案）について （２）協議事項 部会委員について （３）その他
結　　果	議事録のとおり
事務局職員	福祉部　部長　中村修、共生社会推進課　課長　高山佳明、 主幹　白子裕一、主任　駒ケ嶺美環 基幹福祉相談センター　主任　野末奈緒美、主事　松本尚子、 主事　土屋莉果

審 議 内 容 の 記 録 （審 議 経 過、結 論 等）

事 務 局　開会挨拶、資料の確認

会 長　会長挨拶

【議事】

（１）報告事項

①「第８期障がい福祉計画」「第４期障がい児福祉計画」について

事 務 局　資料１－１、１－２に基づき進捗説明

委 員　ヒアリング結果に団体名を明記する件については、会員に確認したい。
委 員　団体としての意見を提出しているので問題ない。
委 員　団体名は記載なくて良いのでは。
委 員　ヒアリング結果にある緊急連絡先確保の難しさ、ぴあサポートの重要性を感じる。団体名を載せる場合は、注釈が必要に感じる。精神障がい者が他障がいと同等の優遇が受けられるとよい。
委 員　団体名ではなく、どのような障がい特性や困難さがあるかを書いてみてはどうか。
例えば「見えないので」「聞こえないので」等。
委 員　計画相談支援について、利用者数は既に見込み量を超えているのではないか。
委 員　放課後等デイサービスの不足を感じる。また、職員の質の確保も大きな課題である。
委 員　短期入所利用者は見込み量よりも増加している印象。
委 員　障がいに関する相談だけでなく生活全体の相談に対応できる窓口の必要性を感じる。
委 員　保育所等訪問の希望増加を実感している。一方で、真に利用希望があるとは限らないことも多く、支給をする際の説明が重要に感じる。
委 員　ヒアリング結果が一番大切に感じた。答えてくださった412名の市民の声を最大限反映させるような計画が良いと感じた。
事 務 局　今日の意見を踏まえて計画作成を進めていく。団体名は記載しない予定。また、見込み量が空欄があるため、次回反映した数字を入力し報告したい。

②日中支援型グループホームの評価結果（案）について
事 務 局　資料２－１、２－２に基づき説明。各施設より、自立支援協議会全体会で説明することの負担が大きかったとの意見があった。今後は、地域連携推進会議への積極的な参加や、共生のまち部会の活動の一環として、委員や部会参加者が実際にグループホームに伺い報告をしていただくなど、評価方法を工夫したい。

（２）協議事項
①部会委員について
事 務 局　資料３に基づき説明。
会 長　部会は４つの部会で決定している。委員配属について委員の意見を伺いたい。
委 員　全体会のみ参加可能。部会は専門性が高く難しく感じている。
会 長　本日欠席の委員もいるため、確認次第最終決定としたい。

（３）その他
副 会 長　心のバリアフリーハンドブックについて周知したい。平成２８年に障害者差別解消法が施行され、埼玉県でも「埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例」が制定された。令和6年には合理的配慮が義務化され、障がいの有無や状態に関わらず、全ての人が支え合いながら共生社会の実現に向けて作成ハンドブックである。自立支援協議会の今後の取組に活かしながら、共生社会の実現に繋がることを期待している。

委　員　障がい者団体の中に本人部会がある。当事者本人の意見が除外されないよう、今後の取組みを進める際には考慮いただきたい。

会　長　貴重で重要な意見である。自立支援協議会の委員になることが難しくても、オブザーバーとして参加するなど柔軟な形で当事者参加が出来るよう事務局とも協議をしている。是非前向きに当事者とともに協議会が運営できるよう検討を続けてほしいと考えている。

委　員　宗岡第四小学校裏の農地の一部で、今後地域の障がい者の事業所や地域の方々とイベント等を企画していきたいと考えている。部会の活動の一環としても是非ご参加いただきたい。

委　員　市内小学校と協議する場に参加している。不登校の児童が増えていること、児童の一部には障がいが疑われたり、児童の保護者にも何らかのサポートが必要な方がいる印象がある。学校だけで対応するのではなく自立支援協議会やこどもに関わる部会が共に考える場があっても良いと感じている。

会　長　自立支援協議会の委員には小中学校校長会からの参加もある。是非前向きに検討できると良い。

以上